



「ぐち」ミニは 会員増強の特効薬

青森県 平内町老人クラブ連合会

クラブ数・34

会員数・893名(男性・219名・女性・674名)

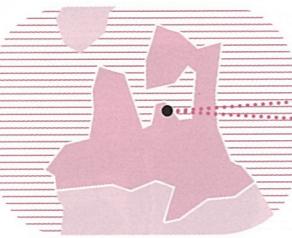
わが平内町は、水稻を中心とした農業と養殖ホタテの漁業の町です。特に養殖ホタテの生産量は日本一を誇り、「ホタテの町」として知られています。また、津軽三味線の高橋竹山誕生の地であり、芸能が盛んであります。



郡老連スポーツ大会にて



34の会旗が並ぶ「平内町老連 旗祀り」



青森県
平内町

「ぐち」ミニによる勧誘

このような活動を行っていても、活動を知らないければクラブに入会しません。そこで重要なのが「ぐちコミ」による評判です。遠慮なく大声で笑い、唄ったり踊ったり、時にはお酒を酌み交わし、愚痴をこぼせる、「居心地の良い場所」であることが必要です。「居心地の良い場所」に人は集まります。「老人クラブは楽しい所だよ」と、「ぐちコミ」の人、この人も誘つてみる、取りあえず1回は参加してみようと声掛けすることが必要です。

昨年度は、新規会員が43名入会しましたが、亡くなられた方70名、活動できなくなっていることが大事と考えています。

女性パワーで活気倍増

本会は女性会員が多く、男性会員の約3



チャレンジ事業で、日本舞踊に挑戦

倍です。元気と魅力にあふれた女性が大勢いて、各種事業への参加も女性が圧倒的に多い状況です。女性の参加が多いのは、女性にやさしい事業を実施しているからだと思います。例えば、スポーツ大会等の賞品は日用品が多く、旅行ではワインを多く持ち込みます。芸能大会の出演者は、衣装・メイク道具一式を持ち込み、気合が入っています。女性会員はわが老連の宝物だと思っています。

特に、旗祀りでは、全34クラブの会旗と会員、物故者の家族約120名がお盆の時期に集まります。会旗をとおして、物故会員を偲び、供養するもので、物故会員の家族の方々に非常に喜ばれています。

「なんでもやってみる」

り脱会した方25名で、全体では減少しました。しかし、老連行事に参加した未加入者は約100名います。すぐに会員増加には繋がらなくとも、「ぐちコミ」活動を先頭に様々な勧誘方法を考え、会員を増やしていきたいと思います。

老人クラブあつての地域社会づくりであり、わが老連は、会員、単老、県老連、町役場との連携が県内随一と自負しています。

(事務局長 小川千鶴)